

成果の説明書

(氏名) 佐藤 徹	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 A. 教育 (1) 政策科学（前期） 政策科学の登場と歴史的背景、政策分析の手法に加え、できるかぎり具体的なテーマや事例を数多く取り上げ、政策科学の意義と本質について受講生自身が考えるように工夫した。 (2) 初年次ゼミ（前期） 大学生としての心構えについて考えさせるとともに、政策ディベート、ワールドカフェ、1分間スピーチ、輪読などを行うとともに、レポート・論文の作成技術や図書館の活用方法、プレゼンテーション技術などが修得できるように努めた。 (3) 行政学（後期） 行政学の基礎理論を修得するとともに、現実の行政にも関心が持てるように講じた。受講生がすすんで発言しやすい環境づくりにつとめ、双方向型の授業となるように工夫した。また、毎回冒頭で一週間のトピックスについても取り上げた。 (4) 政策評価論（後期） 政策評価に関する基礎理論について講じるとともに、政府や自治体での評価に関する具体例を取り上げながら、受講生が政策を評価する際の視角や能力を養えるように努めた。 (5) 演習Ⅰ（通年） ゼミ生たちが議論を通じて共通の研究テーマを探索・検討するとともに、関連文献・資料の調査を行い、収集した情報の整理分析に取り組めるよう指導した。 (6) 演習Ⅱ（通年）・卒論指導 ゼミ生が先行研究の検討整理や自治体へのインタビュー調査等を行ったり、統計データの分析を行ったりして、各人のテーマに沿った質の高い卒業論文が執筆できるよう添削指導した。 B. 研究 (1) 論文等 - 佐藤徹「自治体の中長期構想づくりの基本的視座－総合計画の戦略性・実効性を高めるには」『アカデミア』vol.128、pp.38-43、市町村アカデミー、2019年1月 - 佐藤徹「無作為抽出方式による市民討議会の参加承諾者の特徴に関する実証分析－サイレント・マジョリティの背中を押せたか－」『年報行政研究』53、pp.121-141、日本Emata行政学会、2018年5月 - 佐藤徹「インボルブ（involve）する力、インボルブ（involve）する職員－なぜ、皆、あの人に動かされてしまうのか」（特集：平成時代の自治体職員）『月刊ガバナンス』No.213、2019年1月号、pp.36-37 - 佐藤徹「行政政策への参加に関わる論点」（特集：参加は、いま・・・）『月刊地方自治職員研修』2018年9月号、pp.12-14、公職研 (2) 科学研究費による研究 - 科学研究費・基盤研究(C)『政策手法に対応したロジックモデルの類型化と評	

価指標の開発』(研究代表者、2015 年度～2018 年度)において、全国自治体における施策評価指標の調査を実施した。

C. 社会貢献

(1) 公職

- ・ 群馬県：行政改革評価・推進委員会委員長 (2010 年 9 月～現在)
- ・ 千葉県：総合計画の政策評価に関する有識者懇談会委員 (2010 年 4 月～現在)
- ・ 埼玉県さいたま市：総合振興計画審議会委員 (2019 年 1 月～現在)
- ・ 岩手県北上市：政策評価委員会副委員長 (行政評価検証専門部会長) (2011 年 8 月～現在)
- ・ 埼玉県戸田市：外部評価委員会委員長 (2011 年 9 月～現在)
- ・ 埼玉県桶川市：協働推進審議会会長 (2011 年 9 月～現在)
- ・ 埼玉県上尾市：地域創生総合戦略審議会会長 (2015 年 9 月～現在)

(2) 講演等

- ・ 2019 年 3 月 22 日、講演「政策体系とロジックモデルによる評価に向けて」、山形県酒田市研修 (市議会議員対象)
- ・ 2019 年 2 月 21 日、基調講演&パネリスト「自治体政策に関する評価の課題と展望」行政評価シンポジウム、茨城大学 (人文社会科学部市民共創教育研究センター自治体円卓会議) 主催
- ・ 2019 年 2 月 13 日、パネリスト「自治体の行政評価の質の向上」、政策評価に関する統一研修、総務省 (関東管区行政評価局) 主催
- ・ 2019 年 2 月 8 日、講演「行政の視点から見た協働の活用法～限られたリソースの中で最大限の効果をを得るために」、埼玉県桶川市 (管理職対象)
- ・ 2019 年 1 月 30 日・2 月 5 日、講演・演習指導「長期ビジョンと自治体における政策企画 (講義・演習)」市町村アカデミー (市町村職員中央研修所)
- ・ 2019 年 1 月 23 日、講演「研修企画の考え方・政策形成研修 (講義・演習)」市町村アカデミー (市町村職員中央研修所)
- ・ 2018 年 10 月 30 日、講義「行政の政策過程への市民参加を考えるーその意義と方法」高崎経済大学公開講座
- ・ 2018 年 10 月 21 日、講義「自治体評価の現状と課題」第 25 期評価士養成講座、日本評価学会主催
- ・ 2018 年 9 月 20 日、講演・演習指導、行政経営研修②「ロジックモデルによる戦略的体系の構築一次期総合振興計画の策定に向けて
- ・ 2018 年 8 月 22 日、講演・演習指導、行政経営研修①「ロジックモデルによる戦略的体系の構築一次期総合振興計画の策定に向けて」、埼玉県戸田市主催
- ・ 2018 年 8 月 21 日、講演、行政経営幹部職員研修「戦略的施策体系の構築とマネジメントの実現」埼玉県戸田市主催
- ・ 2018 年 7 月 3-6 日、講演・演習指導、「戦略性・実効性を高める中長期構想づくり～PDCA サイクルの活用」『長期ビジョンの策定方法と実践』市町村アカデミー (市町村職員中央研修所)
- ・ 2018 年 5 月 12 日、講義、「自治体評価の現状と課題」第 24 期評価士養成講座、日本評価学会主催

D. 学内業務

高校への出前授業や情報基盤センター運営委員会委員としての業務に取り組んだ。

2 その他の事項

特になし。

3 次年度以降の計画・抱負

自治体の公共政策に関する新たな研究テーマを設定し、スタートを切りたい。

次年度から基礎ゼミが導入されることから、これまで以上に、体系的に卒業研究に向けた演習指導を行いたい。